

TOKYOink 農業資材ニュース

加工品／包装・農業資材

AGRICULTURE & OUTDOOR MATERIALS SUPPORT

2017.10/ No.1 創刊号

当社の製品群は「安心・安全」「省力化・ライフサイクルコスト」をコンセプトに開発を推進しています。

創刊のご挨拶

東京インキ株式会社は主にインキ、化成品および加工品の3部門から成り立っています。加工品部門では長年にわたり培ってきた当社の分散ケミカル技術を駆使し、生産された材料を使用して開発した樹脂加工品を工業材料、包装材料、農業材料および土木材料へ提供しています。

この度、当社の加工品部門において、皆様への情報をより充実したものとするため「TOKYOink 農業資材ニュース」を2ヶ月に1度、発行することにしました。「TOKYOink 農業資材ニュース」を通じて当社製品に関心を寄せていただければ幸いです。

昨今、大きな変化を遂げる社会情勢の中、当社はこれまで以上に活動内容をより強化し、社会貢献に全力を尽くします。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願いし、創刊のご挨拶とさせていただきます。

執行役員 営業部門 加工品営業本部長 家坂 正史



今までにない多層断熱被覆資材

エナジーキーパー[®] R ライト

断熱性を維持したまま光線透過率をアップ

本社 加工品営業部 羽鳥 慎吾 (埼玉県行田市 出身)

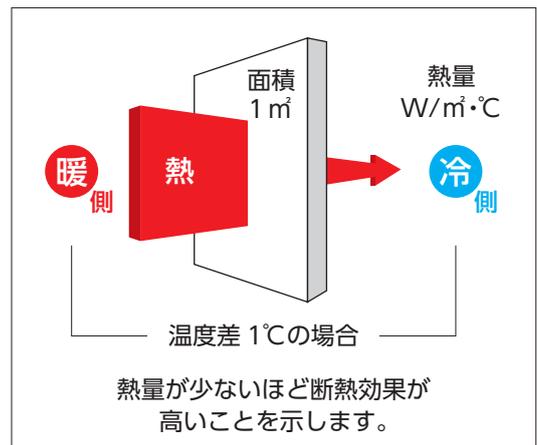
施設園芸における冬季の栽培では暖房等にかかる重油代等が生産者の大きな負担となっています。

そういった外部の環境に左右され難く、安定した内部温度を保つために開発されたのが「エナジーキーパー R」です。

「エナジーキーパー R」は、今までの「エナジーキーパー」に近い断熱性を維持しながら光線透過率を高め、花き・果菜類栽培での使用を可能にした新しい資材です。

特に断熱性を測定する熱貫流率試験では、 $2.98\text{w}/\text{m}^2 \cdot \text{C}$ と驚異的な数値で、保温力に非常に優れています。また、遮光率は約70~75%と光線透過も確保できるようになりました。さらには、目付けが約170gと非常に軽く、収束性・施工性にも優れております。

■ 熱貫流率の概念図



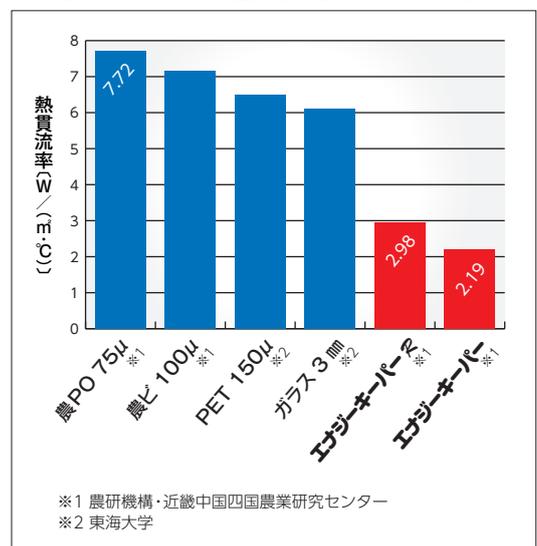
施工現場：長野県安曇野市
作物：ランタナ・トルコギキョウ
ハウス規格：間口6.6m×長さ42m (単棟)

▲ 展張前
▼ 展張後



■ 熱貫流率の比較

農研機構・近畿中国四国農業研究センター (参考値)



Case study



ご採用いただいた経緯

長野県安曇野市では、冬場の最低気温が -20°C にもなる事もある、非常に厳しい環境にあり、暖房費の削減が大きな課題でした。

そこで、課題を解決するためにご採用いただいたのが「エナジーキーパー R」です。エナジーキーパー R は、断熱性が非常に高いため暖房費の大幅削減が期待されています。展開完了後の状況をご説明いたします。



サイド・天井巻上げで使用



目付けダウンにより
収束性、作業性の向上
2.1m 巾→ 巻径 6 cm



ベルトを入れることにより
前後の巻径を均一化する効果と
ずり落ち防止

■ 他社被覆資材との収束比較



① エナジーキーパー R



② 他社品 A



③ 他社品 B

voice

生産者の声

今回エナジーキーパー R を展開してみたが、思っていた以上に収束性が良く、ハウス内も非常に明るく感じるため購入してみた良かった。

暖房費が、どの程度削減できるか、これからデータを取り、今後の生産に活かしていきたい。

とのコメントをいただきました。

